

検査は簡単に行えます

※この検査には健康保険が適用されます。

①

簡単な問診・アンケート

日中の眠気、
生活習慣に関するアンケート。

②

自宅での簡易検査

寝る前に腕に簡単な検査装置を
装着して寝ていただきます。



③

医師の診断

— 検査によりわかること —

- ・無呼吸や低呼吸の重症度がわかります。
- ・さらに詳しい検査が必要かどうかわかります。
- ・早期にCPAP治療の導入を必要とする場合があります。

セルフチェック

Q 夜こんなことはありませんか？

- いびきをいつもかく
- 睡眠中に呼吸が止まっていると指摘されたことがある
- 苦しくて目が覚める
- 夜トイレに何度も起きる
- 口が渇く
- 胸焼けがする

Q 他にこんなことはありませんか？

- いつも眠い、居眠りする
- だるい、疲れる
- 仕事に集中できない
- 起床時の頭痛

Q 病気で困っていませんか？

- 高血圧なのに薬がよく効かない
- 心臓の病気がある
- 肥満や糖尿病である
- 痛風や脂肪肝である

夜の項目でチェックが2つ以上あり、他の項目、
あるいは病気のチェック項目にも該当するなら、
睡眠時無呼吸症候群が疑われます。
医師または看護師にご相談ください。

顔写真は本人の同意を得て使用しています。

SAS(S21)三バ1(NK)0612

あなたを脅かす万病のもと！

睡眠時無呼吸症候群

Sleep Apnea Syndrome

監修/ 横浜呼吸器クリニック 院長 小野容明先生



○お問い合わせ先

検査をご希望の方は、
1泊2日ドックご予約日の
1週間前までにご連絡ください。
(費用は1泊2日ドック料金に含まれます。)

当院では睡眠時無呼吸症候群の簡易検査を行っております

次のような症状はありませんか？

大きなびきをかく



日中とても眠い



起床時の頭痛やだるさ



睡眠中に呼吸が止まっていると指摘されたことがある

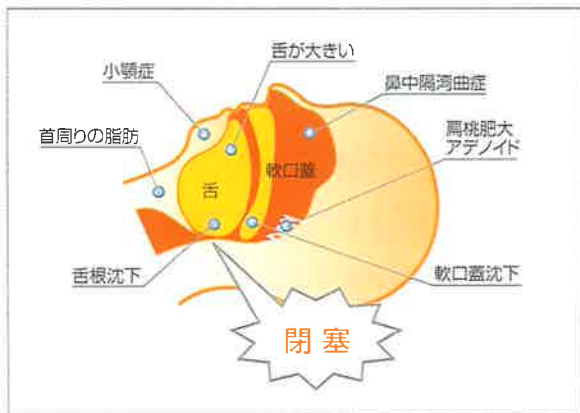


肥満や糖尿病、高血圧である



睡眠時無呼吸症候群とは？

睡眠時無呼吸症候群(SAS: Sleep Apnea Syndrome)は、気道の閉塞などが原因で、睡眠中に何回も呼吸が止まる病気です。わが国では200~300万人の潜在患者がいると言われております。



注目されるべき生活習慣病との合併



治療方法はありますか？

適切な治療を行うと、日中の眠気や倦怠感などの症状がなくなるだけでなく、合併症を予防したり、改善することができます。軽症の方は、減量や飲酒を控えるなどの生活習慣の改善により症状が軽減したり、なくなることもあります。中~重症の方は、鼻マスクによるCPAP*という治療方法が行われております。

※CPAP: 鼻マスクから気道に空気を送り込み、気道の閉塞を防いで無呼吸を是正する治療方法です。(健康保険適用)



#1 Nieto FJ, et al: JAMA 2000; 283: 1829-36 #2 Marin JM, et al: Lancet 2005; 365: 1046-1053